

愛寿会 たより

冬号
第 253 号
令和 5 年
12 月 発行



令和五年度

総合防災訓練を行いました

十月二十九日(日)に、仁生園で P A S (気中負荷閉閉器) の交換を実施しました。

P A S とは、電気事故が発生した場合に、近隣への波及事故(近隣を巻き込んだ停電事故)を防ぐ役割があり、電力会社と仁生園の責任分界点に設置される保護装置のことを言います。P A S の交換推奨期間は、十年から十五年と言われており、近隣の皆様に迷惑が掛からないよう、この度交換いたしました。

P A S 交換工事に伴い全館停電となりますので、電気・ガス・水道などが使用できない状況となりました。仁生園では原則、非常用自家発電設備が設置されていますので、全館停電となることはありませんが、昨今の災害で何が起るか予測できません。全館停電となった場合においても、ご利用者様が安全に生活できるよう訓練を行いました。



まず、非常招集連絡訓練です。仁生園で災害が発生した場合について、連絡網を活用し、必要に応じて職員の参集を行います。次に炊き出し訓練です。かまどを使用し、薪で火をおこしてお米を炊きました。

「始めちよろちよろ、中ぱっぱ、赤子泣いてもふた取るな」と、どこか懐かしいフレーズですが、

地方によっては色々バリエーションがあるようです。かまどで炊いたご飯は、おにぎりにして振舞いましたが、格別な味でした。



また、電気が使用できないとエレベーターも使用することが出来ません。その時は、担架を活用し非常階段で避難できるように訓練を行います。職員一名が要救護者となり、職員で担架を持ち上げます。階段は高低差がありますので、利用者様がケガをしないように安全に運搬できるようにします。

最後に、給食提供訓練です。階段を使用し、利用者様の食事を職員で運搬します。厨房が一階にあり、そこから、ごはん・汁物・おかず等をバケツリレー方式で運搬し、食事を提供します。非常食の対応で、普段の美味しい食事とはかけ離れています。災害時は利用者様の安全な生活をお守りすることが第一です。災害はいつ起こるか分からないことを念頭に入れ、日頃から災害や防災に関する意識を高めていかなければならないと思いました。



秋の叙勲受賞

令和五年十一月三日に発表された【秋の叙勲 瑞宝単光章】に「藤森とよ子」職員が選ばれました。

藤森とよ子職員は当会特別養護老人ホーム仁生園の職員として、入所者様とその家族に寄り添い続け、二十五年間勤務されたことが評価され令和五年秋の叙勲で瑞宝単光章を受賞されました。おめでとうございます。

栄典は、国家または公共に対し功労のある方、社会の各分野における優れた行いのある方などを表彰するものです。

【本人コメント】
認知症などで感情表現や会話がうまくできない入所者様には、少しでも明るい気持ちで過ごしてもらおうと、声を掛けるのが日課になっています。

思い通りに体を動かせない入所者様が、運動会や誕生会などで楽しそうにしているのを見るのが楽しみです。その時に、入所者様が泣きながらお礼を言ってくれることも多く、その瞬間が何よりもうれしい瞬間です。

小時間の勤務もあり、入浴介助などは体力も必要です。つらい仕事ではありますが、入所者様の笑顔でお返しをもらっています。

今後も体調と相談しながら、できる限り仕事を続けていきたいと思っています。



北杜市長坂町 民生委員児童委員協議会
高齢者福祉部会の皆様がご来園されました

十二月五日（火）九時三十分～十時、北杜市長坂町民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会の委員の皆様十名が、ご来園されました。

冒頭に当法人理事長小宮山光彦よりご挨拶をさせて頂き、その後、当法人の沿革や事業において常務理事・統括施設長・園長竹中より部会の皆様に説明をさせて頂きました。委員の皆様は日々、市内の高齢者の皆様のため地域の中で社会奉仕の精神をもって、援助を必要とする方の様々な相談に応じ、区や関係機関へつなぐなど、悩みごとの解決を図るお手伝いをしています。

民生委員・児童委員は、地域から推薦され、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなくボランティアとして活動してられます。



仁生園花火を執り行いました

十月二十九日、仁生園まつりで行えなかった花火大会を行いました。

日が沈み辺りが暗くなり、冷え込む中での開催でしたが、多くの利用者様が観に来て下さいました。

各々防寒具を身にまとい、暖を焚き、その中で職員によって噴射や打ち上げといった、大小様々な花火を豪快に点火し、澄み切った夜空にたくさんの色や音を奏でていました。

五十連発の花火や大きな花火、参加された利用者様から「すごいね」「きれい」などの声をたくさん頂きました。

ファイナールを飾ったのは、三段からなるナイアガラです。職員総出で火を点け、着火係は煙に包まれ大変でしたが、正面から見える五百本もの花火が一斉に、勢いよく広がる光景は、すごくキレイだったと思います。



シリーズ 第5回
 ～ 外国人技能実習生
 インタビュー ～

Q. 日本の季節はいつが好きですか？
 夏が好きです。

Q. 日本で行ってみたい場所がありますか？
 富士山に登りたいです。

Q. 仁生園での仕事はどうですか？
 とても楽しいです。



二
号
館
ワ
ー
・
ワ
ー
・
ラ
イ
ン



「寒い中での開催でしたが、また一つ利用者様にとって大切な思い出となって頂ければ幸いです。」



Q. 日本の季節はいつが好きですか？
 秋と冬が好きです。

Q. 日本で行ってみたい場所がありますか？
 富士山に登りたいし、鎌倉の大仏を見に行きたいです。

Q. 仁生園での仕事はどうですか？
 日本人の人は、時間とルールを守る人が沢山いるので、仕事が楽しいです。



一
号
館
メ
ー
テ
ッ
ト
・
プ
ー
・
ウ
エ
イ

Q. 日本の季節はいつが好きですか？
 暑すぎないし寒すぎないので
 春が好きです。

Q. 日本で行ってみたい場所がありますか？
 大阪にある、ユニバーサルスタジオ
 ジャパンに行ってみたいです。

Q. 仁生園での仕事はどうですか？
 自分の生活にどんなに大変なことがあっても、職場に来てお年寄りの方へ会えば、その大変さも忘れてしまうほど楽しい仕事です。



二
号
館
ミ
ン
ト
・
ミ
ヤ
ッ
ト
・
ツ
・
ソ
ー



夏の暑さが過ぎ、森の木々が赤く染まり始めた秋ごろ、三号館では利用者の皆様を連れて、清里方面まで紅葉ドライブに行ってきました。車中、窓の外から見える紅葉の景色に「きれいだね」と笑顔を見せて下さり、とてもウキウキした様子で楽しんで頂きました。なかなか屋外でのレクリエーションが出来ない中、職員同士で協力し利用者様の気分転換に、お連れすることが出来てとても良かったです。

特別養護老人ホーム仁生園
 ～ 三号館・紅葉ドライブ ～

今後も利用者様に喜んでいただける様に、季節の変化に合わせた催し物を企画していきたいと思
います。

〜 寿司会食 〜

毎月、利用者様の誕生日をお祝いしているの
ですが、十一月の誕生会は「寿司会食」でした。

園では、なかなかお刺身やお寿司など、生もの
を召し上がって頂く事が出来ないのです、貴重な時
間となりました。

今回は、数年ぶりとなる、目の前で実際にお寿
司を握って召し上がっていただく演出に、利用者
様も大変喜ばれており、お寿司屋さんの雰囲気
を味わって頂くことが出来ました。



〜 一三階 クリスマス 〜

一三階では、クリスマスツリーの飾り付けを
利用者様と一緒に行いました。

大・中・小とあり、それぞれ手分けをしながら
「どの色が良いかな」「ここに付けようか」な
どと言いながら、皆さま思い思いに飾りつけをし
ました。

飾り終えた後、自分で飾
ったツリーを「上手くいっ
たよね」などと言いながら、
何度も眺めては「きれいだ
ね」と笑顔が見られました。
一三階では、一年を通
して様々な行事を行って
います。お正月には書き初め
春には野点、その他にもぬ
り絵やカラオケ等。その度
に利用者様がとても楽しまれていて、素敵な笑顔
を職員に見せてくれます。



利用者様のそんな素敵な笑顔を一日でも多くみら
れるように、これからも職員一丸となって様々な
催し物を企画していきたいと思っております。
今年も一年、ご家族の皆様にもたいへんお世話
になりました。来年も、どうぞよろしくお願
い申し上げます。



グループホーム やすらぎ

〜 暑い秋 〜

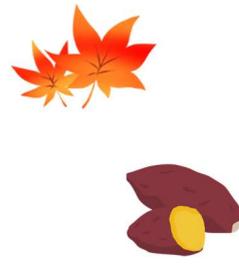
今年は夏の暑さが続き、秋分の日どころか十一
月に入っても「秋」の気配がなかなか感じられな
い日が続きました。

やすらぎの利用者様も、「暖かいのは良いけど
秋らしさがないね」とよく話されていました。

収穫の秋、食欲の秋、色々ありますが、せめて
季節感を味わおうと「十五夜」「十三夜」「十日
間夜」に取り組みました。



若い職員にはなじみがなく、最高齢の利用者様に、収穫を祝う日であること、秋の収穫物を飾ってお祝いする事等を教えてもらいました。今年の十日間夜は、十一月二十二日でした。早速、サツマイモをみんなで皮むきして、干し芋作りに取り組み、団子も作って職員も一緒に美味しく味わいました。



グループホーム こあらま

〜 手作りおやつ 〜

こあらまでは、利用者様と一緒にホットケーキを作りました。



ホットプレートで作ったのですが、積極的に協力してください、とても美味しいホットケーキが焼き上がりました。「美味しい!!」「上手に焼けてるね」と話しながら、美味しく頂きました。職員も利用者様と一緒に、とても楽しい時間を過ごすことができました。

〜 園内散歩 〜

とある晴れた日、九名全員で園内散歩をしまし

た。

赤や黄色に色付いた紅葉を見て回ると「キレイ!」と皆さま笑顔で、外の空気を思いっきり吸って深呼吸をされたりして、皆さま楽しいひと時を堪能されました。



来年も様々な取り組みをしていきたいと思えます。こあらまが開所して初めてのクリスマスなので利用者様と一緒に、サンタクロースを手作りしました。

なかなかの出来栄えに、利用者様もとても喜んでおられました。六月の開所から約半年、あつという間でした。来年も、どうぞよろしく願い申し上げます。



仁生園デイサービスセンター

〜 運動会 〜

「スポーツの秋」ということで、十月九日から一週間、レクリエーションの時間に運動会を開催しました。紅組と白組に分かれてその日の各組のキャプテンによる選手宣誓から始まり、「玉入れ」「輪っこ回し」、そして職員競技の「ビン立て競争」を行いました。競争となると、やはり力が入ります。「早く早く!」



「抜かれちゃうよ!!」等の声が飛び交い、童心にかえり楽しいひと時となりました。皆さまいつまでも気持ちちは若者です。これからも、心も身体も元気になれるレクを計画していきたいと思えます。



〜 津軽三味線の音色に魅せられて 〜

十二月十二日と十六日に、「小山流八ヶ岳教室」の皆様が来園され、津軽三味線を披露してくださいました。間近で津軽三味線を聴ける機会は貴重です。強くはつきりとした音の一つ一つから、津軽の風景が映し出されるようでした。





十一月二十八日、「甲斐の国小粋」の皆様が来園し、「よさこい」を披露してくださいました。とても勢いのある踊りを、間近で見せていただくことが出来て、利用者様も職員もとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

甲斐の国小粋の方々の衣装に身をまとい、一緒に踊る利用者様もいらつしやいました。とても楽しい時間をありがとうございました。



曲目は「武田節」など馴染みのある曲ばかりで、津軽三味線の音色に合わせて唄う歌は、格別でした。いつまでも聴いていたいと思う三味線の演奏に、私たち職員も元気をもらいました。「小山流八ヶ岳教室」の皆様、ありがとうございました。



十一月三十日、「八の音マンドリンクラブ」の皆様にも優しく美しい音色に、利用者様もうつとりと聴き入っていました。

グループホームの皆さまも何名か参加してください、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

楽器を一つ一つ紹介してください、それぞれ音色が違って、その音色が重なり合っている、なんとも言えない、美しく穏やかな音色でした。職員も日常を忘れてしまうくらい、聴き入ってしまいました。

今年一年デイサービスでは、感染対策を行いなから、利用者様に楽しんで頂きたいと思ひ、様々な方々をお呼びして催し物を行って参りました。

十一月三十日、「八の音マンドリンクラブ」の皆様にも優しく美しい音色に、利用者様もうつとりと聴き入っていました。

グループホームの皆さまも何名か参加してください、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

楽器を一つ一つ紹介してください、それぞれ音色が違って、その音色が重なり合っている、なんとも言えない、美しく穏やかな音色でした。職員も日常を忘れてしまうくらい、聴き入ってしまいました。



マンドリン演奏



十月二十五日と十一月一日に、北杜市須玉町の「みずがき湖」へ紅葉ドライブに行ってきました。

今年は暖かな秋が続く、第一班の紅葉は緑の中に赤い葉がチラホラでしたが、一週間後の第二班の際は、見事に色付いていました。

両日とも天候に恵まれて、景色を眺めながらのコーヒータム、皆さん満足して頂けたでしょうか。紅葉ドライブ行事が済んで急に寒くなりました。第二仁生園周辺もきれいな紅葉になってきました。暖かな日は園庭で楽しみましょう。

紅葉ドライブ

第二仁生園



来年も、より一層楽しんでいただけるように、色々な行事を考えていきたいと思っております。

来年も、皆様にとって素敵な一年になりますよう、職員一同願っております。

一年間、利用者様およびご家族様には大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様にとって、最高で最良の一年となりますように…。



NAOS 社は、薬学博士であり生物学者であるジャン＝ノエル・トレルによってフランスに設立されました。同社は現在世界 100 か国以上で展開しており、過去 5 年間で年間 20% の高い成長率を遂げています。そしてその製品はフランスのエクサンプロヴァンスで、工場と最先端の研究センターがある NAOS Les Laboratoires で開発および製造されています。NAOS の目指すところは、ブランドの認知度やミッションを超え、その独創的かつ価値創造的なアプローチによって国際的に認められる企業になることです。NAOS は、バイオロジー（生物学）を NAOS の革新の中心に置くことで、世の中の主流化粧品の流れとは一線を画し、際立ってきました。NAOS の共通するフィロソフィーは、エコバイオロジー（生物・生態系）です。このアプローチに則り、80 もの有効な特許が開発されました。肌を環境と相互作用する生態系として捉え、単に肌をただ治すよりも、その環境下で生きることを皮膚に教えるべきと考えております。この前向きなアプローチは、生物学を活用して、肌の健康と美しさを持続的に守り、また改善を目指しております。また生態系を肌、人、そして地球との相互作用を真に尊重する義務として考えています。NAOS は生命にインスピレーションを受け、その心によって動かされています。

NAOS JAPAN 株式会社 様 会社概要 HP より引用



「アトデルム インテンシブクリーム」を寄付していただきました。
このインテンシブクリームは、乾燥を繰り返す敏感肌に皮膚表面に存在する多様な生態系に着目し、成分を配合。皮膚のバリア機能をサポートし、乾燥と肌あれの繰り返しにアプローチ。セラミド EOP、セラミド NP、セラミド AP の 3 種類の保湿成分配合で肌をしっとりうるおします。ベタつかず、なめらかな感触で心地よくお使いいただけます。マイルド処方でお子様と一緒にもお使いいただけます。



ナオスジャパン(株)様からご寄付を頂きました

ナオスジャパン株式会社様より

「アトデルム インテンシブクリーム」を寄付していただきました。

このインテンシブクリームは、乾燥を繰り返す敏感肌に皮膚表面に存在する多様な生態系に着目し、成分を配合。皮膚のバリア機能をサポートし、乾燥と肌あれの繰り返しにアプローチ。セラミド EOP、セラミド NP、セラミド AP の 3 種類の保湿成分配合で肌をしっとりうるおします。ベタつかず、なめらかな感触で心地よくお使いいただけます。マイルド処方でお子様と一緒にもお使いいただけます。

山梨県トラック協会様からご寄付を頂きました

令和五年十月七日、山梨県トラック協会様から、たくさんさんのバナナとリンゴを寄附して頂きました。

ご寄付に感謝いたします。ありがとうございました。



お心遣いをいただき、心から感謝申し上げます

(令和 3 年 8 月 26 日～令和 3 年 11 月 15 日)

【物品のご寄附】 (順不同)

・石巻 実 様

社会福祉法人愛寿会後援会より

後援会にご協力いただき心から感謝申し上げます

(令和 4 年 2 月 16 日～令和 4 年 5 月 15 日)

今後も、ご利用の皆様にご満足いただける施設運営を目指し、役職員一体となって誠心誠意努めてまいります。これからも、ご支援ご叱正を賜りますよう、お願い申し上げます。略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

・坂本 忠征 様
・内藤 博子 様
・小林 茂男 様



愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等が
ございましたら左記までご連絡ください。
仁生園 電話 0551-328270
第二生園 電話 0551-328270

来園の皆様へのごお願い

新型コロナウイルス等への感染拡大防止対策をしています。ご不便をおかけ致しますが、ご理解を頂き、厳守していただく様、お願い申し上げます。

- ◆ 正面玄関を施設しております。御用の方はインターホンにて、ご用件をお伝えください。
- ◆ 来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
- ◆ 最少人数でご来園ください。
- ◆ 体調に少しでも不安がある方は、事前に来園をお控えください。

面会に関するお知らせ

☆ 正面玄関横にてガラス越しでの面会及び、施設外から「FaceTime」を利用した面会に加え、喫茶いこいでのアクリル板越しの面会を再開いたしました。

◆ 電話による事前予約が必要
です（電話をいただいた日の一週間後から予約を承ります）。

◆ 来園前の二週間は、ご自宅
で体温を測って下さい。

◆ 面会時間帯は午前九時半～十一時の間で十五分
間です。

◆ 少人数での面会にご協力ください。

☆ 仁生園では、ご家族様のお持ちの iPad、iPhone を利用した「テレビ電話形式」の面会が可能ですのでご利用ください。希望される場合は、ご予約ください。

※ 感染症の状況に依り、急な面会制限をする場合がございます。お電話でお問い合わせいただくか、当法人のホームページにて案内しておりますので、ご利用ください。



求 人 募 集



社会福祉法人 愛寿会

福祉総合生活支援センター 仁生園

障害者支援施設 第二仁生園

介護保険サービス			
特別養護老人ホーム仁生園  定員 132 名	仁生園ジョイントセンター  定員 19 名	仁生園デイサービスセンター  定員 25 名	仁生園介護相談センター  定員 100 名
障害福祉サービス			
グループホームやすらぎ・こあらま  定員 9 名 2 ユニット	障害者支援施設第二仁生園  定員 30 名	第二仁生園ジョイントセンター  定員 3 名	第二仁生園相談支援センター 

【募集内容】

1. 介護職員、生活支援員

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、有資格者平均年収 430 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、夜勤勤務他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩
●夜勤 17:00~9:00 内 4 時間休憩

2. 看護師(正看、准看)

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、平均年収 470 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、オンコール他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩
●遅番 9:00~18:00 内 1 時間休憩

【お電話またはメールにてご相談ください】

連絡先 社会福祉法人 愛寿会 本部事務局 採用担当 統括施設長 竹中まで (平日 8:00~17:00)

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間菅間 1293 番地

TEL:0551-32-3340(代表) FAX:0551-32-3546

URL:<http://www.aijyukai.com>

E-Mail:jinseien@poem.ocn.ne.jp



Facebook



ホームページ